

ルーヴル美術館の 銅版画展

La Chalcographie du Musée du
LOUVRE

世界屈指のコレクションを誇るルーヴル美術館には、「カルコグラフィー」が数多くコレクションされています。カルコグラフィーとは、ルーヴル美術館の銅版画原板コレクション保管室およびその工房で印刷された版画を指します。

ルーヴル美術館のカルコグラフィー室は、ルイ14世の時代につくられた「王の版画原板収集室」のコレクションなどを元に、1797年に設立されました。このときカルコグラフィー室は、版画技術の保存と、ルーヴル美術館の重要作品を版画によって記録する役割を担うこととなります。

銅版画は、その細密さから記録性および再現性にすぐれ、また、複製できるため知識や思想の普及にも深く寄与してきました。本展では、ルーヴル美術館カルコグラフィー室が所蔵する約13,000点もの原板の中から、日本での特設公開のために、当時の貴重な版を用いて刷られた銅版画130点をご紹介します。

ルーヴル美術館が長い時間をかけて集め培ってきた美のエッセンスを、この展覧会でじっくりとお楽しみください。

主催者



- ① ラファエロ・サンツィオ(美しき女庭師)
② ヨハネス・フェルメール(レースを編む女)
③ ニコラ・ロベール(メロー・ウルガリス(メロン))

ご注意

- ◆やむを得ない事情により当館が臨時休館、または事業が中止となる場合がございます。その場合の旅費・交通費などは補償いたしかねますのであらかじめご了承ください。
- ◆ご入場の際、感染症拡大防止のため、当館が実施する対策にご協力くださいますようお願いいたします。◆混雑を避けるため、入場制限や時差入場を実施する場合がございますので、あらかじめご了承ください。

ギャラリートーク

当館学芸員が展示作品について解説します。

- 日時 ①令和4年7月16日(土)11:00~
② 〃 7月30日(土)11:00~
③ 〃 8月6日(土)11:00~
④ 〃 8月27日(土)11:00~
いずれも30分程度

場所 北網圏北見文化センター
企画展示室内

講師 北網圏北見文化センター学芸員

料金 無料 ※観覧券が必要です。

申し込み 事前申し込み不要

ワークショップ ドライポイントを体験!

銅版画の技法の一種・ドライポイント(樹脂版)を体験するワークショップです。

日時 令和4年7月23日(土)13:00~16:00

場所 北網圏北見文化センター講座室

講師 茂木怜成さん(北見柏陽高校 美術教諭)

対象 小学生以上 ※小学生は保護者同伴

定員 10人(申込み先着順)

料金 500円

持物 えんぴつ、ぞうきん、汚れてもよい服装

申し込み 7月16日(土)9:00から
電話(0157-23-6700)により受け付けます。
定員になり次第、お申込受付を締め切ります。

アクセスMAP



- バス:大通りバス停より(北見バス)
③番…東陵運動公園線「文化センター」下車
①番…小泉・光の苑線「文化センター」下車
⑧番…夕陽ヶ丘線「児童相談所」下車
駐車場:野付牛公園駐車場(60台・無料)

北網圏北見文化センター

※お問合せ・詳しくは「ほくもうけん」で検索 [ほくもうけん](#) [検索](#)